

南海トラフ地震等による大規模災害に備え、住民と防災関係機関が協力し、総合かつ実践的な訓練を行うことにより、地域住民と防災関係機関の連携強化を目的に御荘地域で総合防災訓練が実施されました。

会場となった御荘中学校では、救出救助訓練や参加機関による展示・体験コーナーが設けられたほか、男女共同参画の視点から考える防災対策について「BISAI-FARM」代表の林昭子^{あきこ}氏による講話など、各機関が連携して今後の防災活動に役立つ訓練を行いました。



令和6年度 愛南町総合防災訓練

令和6年12月1日(日)

今回の総合防災訓練では二つの災害を想定し訓練を実施しました。

災害想定01. 12月1日(日)、9:30頃、高知県沖を震源域とする地震が発生。

この地震により愛南町では震度6強を観測し、愛媛県宇和海沿岸に大津波警報が発表された。町内の各所で家屋の倒壊や火災が発生してライフラインも寸断され、県道や町道では、土砂崩れ等の発生により孤立している地域が発生している。

災害想定02. 降り続く大雨により、愛南町に土砂災害警戒情報が発表され、町は御荘地域に避難指示を発令。中浦地域では、県道で落石や土砂崩れ等が発生し、孤立している。

避難訓練

大津波警報発表および避難指示発令の放送により、参加者は高台へ避難

要配慮者支援訓練

自主防災会や消防団が、自分1人で避難することが困難な方を支援・介助

情報収集・伝達訓練

消防団バイク隊、県警交通機動隊による孤立地区での情報収集・伝達訓練



避難所開設・運営訓練

町職員と地域住民が協力し、パーティションによる居住区の区割りや段ボールベッドの組み立てを実施



自主防災会や避難者により「避難所運営本部」を設置



救出救助訓練①

消防団が地震で半壊した家屋内で家具の下敷きになった要救助者を救出



救出救助訓練②

消防・警察・自衛隊の3機関合同による土砂崩れに伴う孤立車両および土砂埋没者の救出・救助を実施

